

農林部編

自然と共に生きる農林水産業

市の政策を連載でお伝えします。第6回は、地域の恵みと共に生きる産業である農林水産業を支える農林部の注目施策を紹介します。

注目1

絆を育む深い交流で安曇野を「第二の故郷」に 農家民宿推進事業

お客ではなく「家族」として

近年、旅行業界で注目されているキーワードに、「VFR」というものがあります。これは、Visit Friends and Relativesの頭文字を取ったもので、「友人・親族訪問」を目的とした旅行のこと。国内の宿泊旅行では27.28%を占め、リピート率も高いため、コロナ収束後の旅行を牽引していくキーワードとしても期待されています。

「農家民宿」とは

農作業や農村の生活・文化に触れる体験などの「農村滞在型余暇活動」を提供できる宿泊施設のこと。簡易宿所等の営業許可を取得し、主に都市部の人々との交流を行っています。市では、こうした都市交流を推進するため、農家民宿経営者等で組織する市農家民宿連絡協議会を運営しています。



市では、平成27年に市農家民宿連絡協議会を立ち上げ、これまで約5000人を受け入れてきました。受入の際に一番大切にしているのは、「家族」のようにお迎えし、農村の暮らしを体験してもらうこと。「一緒に会話し、一緒に体験し、一緒に食べる」。そんな深い交流を通じて、受入農家を「友人・親族」のように、そして安曇野を「第二の故郷」のように感じてもらい、将来にわたって安曇野ファンを増やすことを目的に事業を展開しています。

コロナ禍の中止を乗り越えて

協議会発足以来、受入の中心となっていたのは中高生の教育体験旅行でした。しかし、新型コロナウイルスの影響により、令和2、3年度の受入はすべて中止。そうした状況の中でも、受入農家からのメッセージ動画やリングを送るなどの交流を続けてきま

広がりのある受入を目指して

教育体験旅行を中心に据えつつも、今後は意欲的な受入農家を主体として、一般客を対象とした「広がりのある受入」を進めていきたいと考えています。

※ワーク（労働）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語



農林部の仕事

農業振興・支援、施設管理、里山再生、用水路維持など

農林部は農政課・耕地林務課の2課で構成され、豊かな安曇野の自然と寄り添った農林水産業の振興や環境整備などを行っています。農業振興のための補助事業や米の生産調整、直売所等の施設管理や農業に欠かせない用水路の管理、有害鳥獣対策などの業務や林業振興として松くい虫対策や里山再生などの業務を行っています。

農政課では農業振興に係る各種補助制度が利用できます。お気軽にお問い合わせください。

注目2

「使う」ことで里山を守る

森林がもつ多面的機能

森林には、水源の保全や光合成による地球温暖化の防止、木材生産などの多くの機能があります。近年は、豪雨による災害が増加していることから、改めて森林の持つ土砂の流出防止や表土の浸食防止などの機能の発揮が求められています。そのため、適切に森林を管理することが必要です。

市内の森林約2万haのうち、人工林は約5千haで、そのうち50年生を超える成熟した森林が9割を占めています（左記グラフ参照）。この成熟した森林を適切に管理するために

求められる地域の木材

市では1800haの市有林を所有しており、森林の持つ多くの機能を維持するために適切な管理が求められています。

これまでに、市有林から伐採された木材は、身近な材料を利用することで市民に親しまれ、長く愛される施設とすることを目的に本庁舎をはじめ、新総合体育館など多くの公共施設に利用されています。現在は、



木材利用のための市有林伐採現場

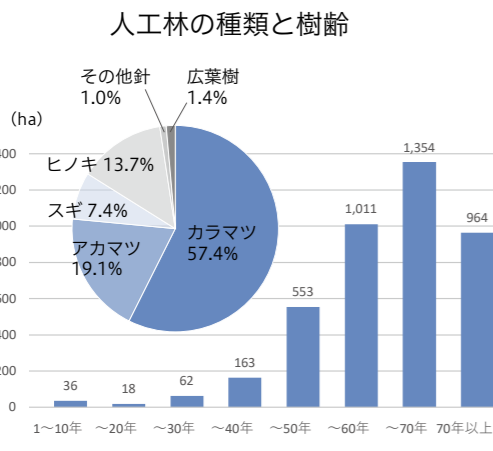
認定こども園の建設に使用する木材を調達するための伐採を進めています。引き続き公共施設に木材を利用するため、市有林の計画的な伐採を進めるとともに、伐採した跡地は、植林を実施し健全な森林管理を行います。今後も地域での木材利用の推進と友好都市での安曇野材利用を進めていきます。

地域の恵みを守るため 安曇野の農林水産業の振興を進めます。

「安曇野」を創る農林水産業と、それを担う農村と森林の保全は、田園産業都市を目指す本市の根幹といえます。水田と山脈から生み出される美しい田園風景と、湧水のもとで生産されるおいしい農水産物は、安曇野市の誇りです。

しかしながら、本市の農林水産業も、担い手の高齢化、後継者不足、農産物の価格低迷など国内農林水産業全般に共通する、深刻な課題に直面しています。

農林部では、さまざまな地域資源を活かし、農林水産業と農村が一体となって地域の魅力を創出できるよう、一つ一つの課題と向き合いながら、独自の農林水産業振興に取り組んでいきます。



トピックス

官民連携で森づくり

11月18日、市とエア・ウォーターグループ、公益法人国土緑化推進機構の3者で「安曇野エア・ウォーターの森づくり協定」を締結。堀金地域の市有林で森づくりの取り組みを実施していくこととなりました。協定の期間は令和9年3月末までで、来春から具体的な森林づくりに取り組みます。

特色を生かした直売所

市内には新鮮な農産物が並ぶ直売所がいくつもあります。農産物が少なくなる冬の時期は、餅やソバ、味噌などの加工品の他にお正月におせちも販売しています。地元の特色を生かした直売所に出掛けてみませんか？



部長ミニインタビュー



農林部長 赤澤 哲也